

### 区政のここが聞きたい

# 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



## 未来思考を!西小山再開発・ダブルケア・災害受援計画

自由民主党目黒区議団 河野 陽子 議員

### <西小山まちづくり>

原町1丁目7番・8番地区でUR(※1)が土地を取得して8年。先日の糸魚川市の大火からも、木密地域でもあるこの地区での共同化を今まで以上に積極的に進める時期と考えるが、区の構想を問う。

**区長** 平成21年に街づくり協議会が設立され、区・URが連携・調整し平成26年に整備計画、平成27年に地区計画を策定。現在は、地権者のご意見を踏まえ、準備組合設立に取り組んでいる。設立

後は、共同化の内容等について、協議会、町会、商店街等に説明を行っていく。  
**<ダブルケア対策を!>**  
晩婚化、晩産化の影響等で子育てと介護が同時期に発生する状態である「ダブルケア」が社会問題として表面化している。(1)「ダブルケア」の区の現状認識を問う。(2)「ダブルケア」は30~40代の女性が主な担い手で、就業への影響も大きい。子育て支援、介護支援の横断的連携に加え、ワーク・ライフ・バ

ランスまで視野に入れた包括的対策が必要だが、どう検証していくのか。

**区長** (1)平成28年度の調査結果から、本区の30代から40代のダブルケア人口推計値は約340人。晩婚化や高齢化で今後一層増加が予想され、直面したかたへの支援の検討が必要。(2)ダブルケアを行うかたの要望は、保育施設や介護サービスの拡充のほか、家族の支援、勤務条件等がある。子育てと介護の横断的支援に加え、ワーク・ライフ・バランス推進を含むダブルケアの包括的な対策について検討を進める。

**<災害受援計画を策定せよ>**  
(1)災害時に他自治体から支援を受けられる際、任せられる業務等を決めておく「災害受援計画」の区の策定状況を問う。(2)「災害受援計画」は業務継続計画(BCP)(※2)等と連動が必要で、具体



## 「支え合う温かな目黒」をめざして

公明党目黒区議団 いいじま 和代 議員

### <在宅避難の防災備蓄>

(1)在宅避難のための防災備蓄をどう推進しているか。(2)震度5以上の震災後は、マンションの配管が破損して水漏れすることがあるが、危険性を周知しているか。(3)非常用トイレセット備蓄等の推進を積極的に行っているか。(4)被災後の食について、排水も

出さないで温かい料理が作れる「バッククッキング」(※1)の普及・推進への所見を問う。

**区長** (1)区報等でイラストや写真を活用し、食料等の備蓄を呼びかけている。(2)区ホームページに「マンション防災マニュアルの手引き」等を掲載。防災訓練等の機会を捉え周知に努める。(3)ト

イレ対策は健康管理に直結するため、区報や区ホームページ、防災セミナー等で普及啓発に努めている。(4)区民の関心が高く、親しみやすいテーマであるため、講演会開催や区ホームページなどを通じ、普及・推進の方策を検討する。

### <インクルーシブデザインの考え方>

(1)「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」に基づく高齢者・障がい者のかたへの特段の配慮について、区の現状を問う。(2)人に優しい街づくりに「リードユーザー」(※2)の人たちを巻き込み、「インクルーシブデザイン」(※3)の手法を取り入れるべきだが、いかがか。  
**区長** (1)だれもが安全で快適に移動できる街の実現に向け、関係機関と連携



## 公営住宅の増設、孤立死防止、再生可能エネルギー普及

日本共産党目黒区議団 森 美彦 議員

### <住宅困窮世帯への支援強化>

(1)区営住宅の新規建設を促進せよ。都営住宅を区移管し区営住宅を増設せよ。(2)全都一少ない目黒に都営住宅を新規建設するよう都に要請せよ。(3)高齢者福祉住宅を必要とする人が入るよう増設せよ。応募基準を緩和せよ。(4)家賃助成を6年期限なく継続せよ。

**区長** (1)現在は目標戸数を確保している。今後の整備については、慎重に検討する必要がある。(2)都は「現在のストックを最大限に活用」との考えで

あり、新たな設置要望は難しいと考える。(3)審議会の答申等を踏まえ、整備の考え方、応募基準の緩和を示していく。(4)期限を示して新規募集を行うことで、公平性のある制度としている。

### <孤立死防止>

(1)高齢化率45%の区営住宅単身世帯に非常通報システム・生活リズムセンサーをセットで設置せよ。(2)単身の生活保護世帯に非常通報システム・生活リズムセンサーの設置を働きかけよ。(3)利用意向34%に見合う普及促

進、助成拡充せよ。

**区長** (1)設置する必要性は個々の状況によって異なるため、セットでの標準的な設置は適当でないとする。(2)本人の意思を尊重しながら、心身の状況に応じて利用を勧奨する。セットでの設置の働きかけは適当ではない。(3)来年度から、非常通報システムの助成拡充を図る。

### <再生可能エネルギーの抜本的拡大>

(1)電力利用割合の目標値を設定せよ。(2)自然エネルギー由来の電気に関わる区民ニーズの意識調査を次回区論調査で行なう。(3)友好関係にある気仙沼市などと自然エネルギー拡大に向け交流を推進せよ。(4)目黒川に小水力発電所を設置し再生可能エネルギーの普及啓発や環境教育に活用せよ。

**区長** (1)区内のエネルギー別電力利用割合の把握は難しいため、目標設定は困難。(2)バリ協定発効や電力自由化



## 色覚障がいへの配慮を!避難所運営協議会の情報交換!

民進党目黒区議団 吉野 正人 議員

### <色覚障がいがある人への配慮>

色覚障がいがある人へ配慮した印刷物や公共施設での色の使い方を、全庁的な取組みとして統一的に推進せよ。  
**区長** カラーユニバーサルデザインガイドラインを活用し、色覚障がいのある人に配慮した印刷物による情報提供

に、各所管が統一的に取り組むよう改善を図る。

### <情報の見やすさを重視した文書作成>

見やすく、分かりやすく、伝わりやすい区民の立場に立った各種通知書・申請書等作成の取組みを推進せよ。  
**区長** 先進自治体の実施例などを参考

に、全庁的に取り組むべき課題として調査研究を進める。

### <区役所等の窓口における住民対応>

住民サービスの最前線である区役所等の窓口サービス向上を推進せよ。

**区長** 窓口職員の住民対応は大変重要であるため、サービス向上月間、接遇研修、区独自のマニュアル配布などを通じて区民満足度の向上を目指す。

### <避難所運営協議会の情報交換の場>

各避難所運営協議会の情報交換の場として連絡会等を設置せよ。

**区長** 避難所運営協議会が設立されていない住区エリアもあるが、個別に要望があれば必要な支援を行って行く。

的、実践的であるべきだが、策定にあたっての課題認識について問う。

**区長** (1)平成23年策定の業務継続計画(地震編)で、業務継続に必要な課題を整理したが、応復旧業務等へ対応するため、受援計画の策定を目指す。(2)受援計画策定に当たっては、応援職員・ボランティアを効果的に活用するための応援業務の調整、受入れ環境等の検討が必要であり、業務継続計画との連動は不可欠。

### 【用語解説】

- ※1 UR:Urban Renaissance Agency(独立行政法人都市再生機構)の略で、前身は日本住宅公団。
- ※2 業務継続計画(BCP):自然災害などへの対応を定めた計画。事業活動を早く再開し、継続するために策定される。

し、駅や道路のバリアフリー化を進めている。(2)基本構想策定時も、障がい者の方々の協力を得てまち歩き点検を行った。今後も高齢者・障がい者を含め、幅広く区民の意見を伺いながら取り組む。

### 【用語解説】

- ※1 バッククッキング:ポリ袋に食材を入れて湯せんで火を通す調理法。
- ※2 リードユーザー:高齢者や障がい者など社会生活の上で何かしらの難を不便を感じていたかた。
- ※3 インクルーシブデザイン:高齢者や障がい者など、特別なニーズを抱えた消費者をデザインプロセスの上流工程へと積極的に巻き込んでいく手法。

など状況変化があるため、今後、調査の機会を捉えて実施する。(3)今後も、交流のある自治体の自然エネルギー活用への拡大に向けた交流などを研究していく。(4)現状の河川環境を保全するためには、水力発電所設置は困難である。

### <みどりの条例の保全協議制度強化>

(1)10年間に1,500本以上減少した直径20cm以上の樹木の増加目標値を設定し、毎年増減を把握した上での対応策を検討せよ。(2)地域の貴重なみどり林は、伐採前に近隣住民への説明を義務付け、民有地等の大木や樹林を守る仕組みを強化せよ。

**区長** (1)みどりの基本計画等で緑被率20%の実現を掲げているが、民有地の建築行為の多寡等もあり、直径20cm以上の樹木の目標値設定は難しい。(2)大きな樹木への住民の思いは様々。当面は現行制度を運用しながら、他自治体の制度や運用状況等を調査研究していく。

### <避難所におけるヘリサインの整備>

ヘリコプターによる救助・救援活動をより的確に実施できる避難所におけるヘリサイン整備を推進せよ。

**区長** 今年度末で小学校7校、中学校5校、碑文谷体育館の13施設に整備した。来年度は小学校2校に整備予定。

### <避難所における夏季の暑さ対策>

夏季に発生した場合の避難所における熱中症予防を含めた暑さ対策を図れ。

**区長** 避難所一カ所分の大型扇風機2台とミスト扇風機5台の整備費を新年度予算に計上。効果や課題を検証していく。



## 子どもたちにも行政の恩恵を!行財政改革で塾代助成

日本維新の会・無所属目黒区議団 山本 ひろこ 議員

### <教育費の負担軽減で支え合う社会へ>

社会の支え合いの継続のためには、将来負担の大きい子ども達も、自分たちも行政からの恩恵を受けていると感じられる支援が欠かせない。さらに、教育費の負担は「産み控え」の最大要因にもなっている。今や塾に通えない子どもは貧困と言われる時代。塾代助成で世

### 代間負担の公平と少子化対策を!

**教育長** 学校教育法に基づく就学援助のほか、副読本の配布など様々な負担軽減の取組みを行っている。塾通いに対しては、費用面で費用負担軽減を行うのではなく、一人ひとりの学力の定着状況などの実態をしっかりと捉え、学習形態の工夫や習熟度別少人数指導などの「わかる授業」



## 医療的ケア児の就学推進 待機児童解消に向けた提言

未来倶楽部77 たぞえ 麻友 議員

医療的ケアを必要とする児童への就学について、整備を進めることが文科省通達などにより推奨されている。一方で、全国的に特別支援学校での受入れは増加、公立小中学校は横ばいである。目黒区の今後の取組み姿勢を問う。

**保護者**の意向を尊重しながら医療的ケアについて合意形成を図る。今後も、学校、保護者、関係機関等と連携を図り、全ての子どもたちへの教育の充実に意を注いでいく。  
**保育園申請の傾向として、1歳児入所が困難を極めて**いる。0歳児申請や、0



## 業者の委託方法を見直そう!違反広告物の除却について

竹村 ゆうい 議員

### <違反広告物の除却>

目黒区は違反広告物除却協力員制度(※)があり、協力員と委託業者とで違

反広告物の除却をしている。ここ数年は年間約10万枚の除却実績だが、平成28年度は12月末までで6万



## 組織として知恵を絞り、住民サービスの充実を目指せ!

自由民主党目黒区議団 いその 弘三 議員

### <空き家対策>

空き家対策の推進に関する特別措置法制定から約2年が経過した。目黒区の空き家対策の進捗と方向性を問う。

**区長** 平成29年度は担当係長を設置し、空き家の動向調査、相談等窓口の整備とともに空き家等に関する計画策定に向けて取り組む。

### <ゴミ屋敷対策の複合的取組み>

ゴミ屋敷の発生源に対しては、複合的

なアプローチが必要になってくると考えられる。福祉・衛生・都市整備・環境の部局連携と対応できる体制づくりについて問う。

**区長** 今後の居住形態の変化や地域の中での関係性の変化を見据え、組織横断的な認識化、情報の共有化などについて、先行例を含め調査研究する。

**<まちづくりと一体化したシェアサイクル>**  
自治体は自転車を置くスペースを提供、



## 日常的な課題、身近な問題に着手し、足元を固めよ

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

### <商店街の防災対策>

手薄に感じる商店街の防災対策について、(1)商店街における防災訓練の現状を問う。(2)大規模火災等が発生した際、商店街にいるお客様、通行人、店員、住人、近隣等への安全対策を問う。(3)区として各商店街に対する防災マ

ニユール整備支援を問う。(4)店舗(飲食店、電気店等)別点検標準を区がまとめてはどうか。

**区長** (1)商店街単独での訓練事例はない。訓練の相談があれば、消防署等と協力し必要な支援を検討する。(2)消防署が、火災予防運動にあわせて避難通

の実践とともに、「放課後授業」などで学力の定着と向上に向けた取組みを進める。

**<効果の見えない運動推進策>**  
従来の運動推進策では医療費削減効果が測れない。実効性のある予防医療のためにも、ICT(※1)を活用して、効果が実証されている運動無関心層を取り込む大規模施策を導入すべし!

**区長** 運動習慣の定着・継続で様々な生活習慣病の予防や改善が図られ、医療費の削減につながるかと考える。運動の意義と効用についての普及啓発とともに、地域で身近に運動ができる環境の整備に取り組む。

### <公民連携(PPP)(※2)による財政改革>

今後の福祉費増大で、財政は苦しくな

歳から認可外保育園に預け職場復帰することが必須となっていて、可能な限り自宅で保育してから保育園に預けたいという親御さんから子どもをひき離している。また、0歳児保育にかかる費用は最小でも月額約40万円であり、今後も保育園を整備する中で運営費は区の財政を圧迫する恐れがある。0歳ではなく、可能な限り1歳以降に預けられる保育枠の設定と他区の育児休業加算などを検討してはいかかか。

**区長** 1歳児は0歳児からの持ち上がりがあり、0歳児より入りにくい状況

がある。対応策として1歳児の定員拡大が考えられるが、都市部の百坪程度の保育所で1歳児の定員を増やすことは困難と考える。また、賃貸型の保育事業者公募に当たっては、1歳児からの定員構成を原則としている。すでに運営している保育園の定員構成の変更には調整を要する点もあるが、検討課題と考えている。認可保育所の計画どおりに整備を進めつつ、社会状況の変化などに応じて入所基準の見直しや定員構成等についても調査研究を重ねていく。

### 【用語解説】

- ※1 ICT:情報・通信に関する技術の総称。
- ※2 公民連携(PPP):公民が連携して公共サービスを提供する手法。(Public Private Partnershipの略)

導入・管理は民間事業者が行うことで、自治体の費用負担なしで導入可能な方法があると聞く。目黒区も、目黒のまちにあった方法の検討が必要ではないか。

**区長** 目黒区観光ビジョンでは、回遊しやすいまちづくりを進めるプログラムの一つとして、自転車など回遊手段の整備を掲げている。他区の自転車シェアリングの実施状況や事業者の動向を踏まえ、移動方法について検討していく。

### <未来に向けての納税の考え方>

(1)ふるさと納税で、28年度は6億円の減収となった。区では、特定施策を応援していただく仕組み構築が必要ではないか。(2)原動機付自転車にご当地ナンバープレートを導入をすべきではないか。

**区長** (1)目黒さくら基金は、継続的な

収入で一定の効果がある。この基金同様の対応が図られるものについては、順次検討を進める。(2)費用対効果等にも留意しながら、区民の要望に応えられるよう様々な視点から考えていく。

### <体育館の効率的利用法>

オリンピック・パラリンピックに向け中央体育館が改修される。利用者・利用団体が困らないよう、他体育館の効率的利用方法等の検討が重要と考えるが。

**区長** 一般公開種目では他体育館の利用を促す。団体利用では、学校開放施設や住区センター会議室などの情報提供を積極的に行い、引き続き身近な場所でスポーツができるよう対応する。

### <飼い主のいない猫>

猫ブームが去った後、(1)野良猫を増やさないためにはどうしたら良いと考えるか。(2)地域猫の理解を深めるには地域猫ボランティアとの協力が必要と思うが、所見を問う。(3)「目黒区ネコの飼育ルール」は万人向けではない。地域猫の理解を促すための簡素で分かりや

る。教育や健康づくりの予算捻出のためには、民間企業の技術やノウハウを企画段階から活用して、効率的で質の高い公共サービスの提供をすべき!

がある。対応策として1歳児の定員拡大が考えられるが、都市部の百坪程度の保育所で1歳児の定員を増やすことは困難と考える。また、賃貸型の保育事業者公募に当たっては、1歳児からの定員構成を原則としている。すでに運営している保育園の定員構成の変更には調整を要する点もあるが、検討課題と考えている。認可保育所の計画どおりに整備を進めつつ、社会状況の変化などに応じて入所基準の見直しや定員構成等についても調査研究を重ねていく。

場場合は、協力員の活動内容を見直す必要があるが、今後どう変化するか予測は困難。効率的・効果的事業執行が重要なことから、今後、受託業者の委託方法を見直す必要があると考えるが、見解を問う。

**区長** 違反広告物除却協力員は電柱等のはり紙、委託事業者は、はり紙のほか立て看板、のぼり、カラーコーンなどを除去している。除去対象物が異なるため、委託事業者による除去事業は必要と考える。除去枚数が大きく減少した

路確保等の査察を実施。商店街の主体的な訓練の啓発などの支援に努める。(3)マニュアル整備については、周辺環境や店舗構成など商店街の実態に応じた支援を検討する。(4)防火管理指導を行っている消防署の意見を聞きながら、効果的な取組みを検討する。

**<飼い主のいない猫>**  
猫ブームが去った後、(1)野良猫を増やさないためにはどうしたら良いと考えるか。(2)地域猫の理解を深めるには地域猫ボランティアとの協力が必要と思うが、所見を問う。(3)「目黒区ネコの飼育ルール」は万人向けではない。地域猫の理解を促すための簡素で分かりや

すいパンフレットを作成すべきではないか。

**区長** (1)地域猫活動の支援、不妊・虚勢手術費用の助成、譲渡会の後援など、様々な施策の総合的な展開が効果的と考える。(2)安定的・継続的な活動の展開が重要。その担い手である地域団体やボランティアの方々の思いや地域の実情に沿った活動を支援し、共生できる生活環境の確保を目指す。(3)より効果的な掲載内容の考察も含め、地域猫活動の展開に資するものとなるよう検討していく。

議員の辞職 星見てい子議員(日本共産党目黒区議団)は、平成29年2月16日付で区議会議員を辞職しました。これにより、生活福祉委員会は1名欠員となりました。